

株式会社 松屋 1月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-1.5	<p>1月の銀座店は、国内外のお客様の旺盛な購買により化粧品が引き続き堅調に推移するも、コート等防寒衣料品の最終消化を図った婦人衣料品が苦戦(①クリアランスセールは前年に対して9掛、春物商材を軸としたプロパーは前年ベースに推移 ②ミセス～シニア層を対象とした婦人服フロアのリニューアル工場の影響も全体に影響)したことが要因となり、衣料品全体の売上高は前年を下回りました。また、免税売上高につきましては、化粧品を軸とした消耗品は好調(前年対比で二桁増)を維持するも、ラグジュアリーブランドを中心とした一般品の売上高が前年を下回ったことにより、全体の売上高は前年に届きませんでした。以上の結果により、店全体の売上高も僅かに前年に届きませんでした。</p> <p>浅草店は、洋菓子等が好調に推移するも、婦人衣料品・生鮮三品・惣菜の売上高が前年割れに付き、店全体の売上高は前年を下回りました。</p>

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

※ 「1月売上報告」は、2/14(木)の開示を予定しております。

(ご参考)

銀座店	-1.2	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-5.9	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。